二〇二一年九月二五日

茅葺の祠草の穂草の花　はく子

茅葺の里に広ごる蕎麦の花　はく子

夕間暮れのつぺらぼうの案山子かな　よう子

娘とひらく婚の写真や秋灯下　なつき

ぎんなんを拾ふ人なき並木道　はく子

敬老日余興の手品鳩が出ず　凡士

秋の灯の格子を漏るる京の露地　よし子

萩愛でて万葉人となる心地　うつぎ

酔芙蓉眺めの午後のテイタイム　よし子

子雀ら乗せて沈みし籾の山　愛正

うち畳み寄せる白波秋の海　こすもす

力石撫でて祈願す秋遍路　素秀

輪塔に隠れクルスや菊薫る　なつき

久に佇つ古里の畦曼珠沙華　うつぎ

秋の声茅葺深き廂より　はく子

毎週句会秀句・みのる選・二〇二一年九月二六日